

「フロンサイドSC」がほ場で散布 できるようになりました！



令和5年6月7日、基腐病に登録のある農薬「フロンサイドSC」が適用拡大され、植付後の散布が可能になりました。

使用時期	使用方法	希釈水量（希釈倍数）	使用回数	備考
植付前	全面散布土壌混和	50～200 L / 10 a (使用薬量：500mL)	いずれか 1回	適用 拡大
	全面土壌散布	50～200 L / 10 a (使用薬量：500mL)		
収穫30日前まで	散布	100～300 L / 10 a (希釈倍率：1,000倍)	2回以内	

薬剤の散布例

区分	植付前		植付後		
	畝立て前	苗消毒	1回目	2回目	3回目
1例	フリントフロアブル25 の全面散布土壌混和	ベンレート水和剤	植付から21日後 <u>フロンサイドSC</u> (300L/10a)	1回目から14日後 <u>フロンサイドSC</u> (300L/10a)	2回目から30日後 トリフミン水和剤 (300L/10a)
2例	—	ベンレート水和剤	植付から21日後 <u>フロンサイドSC</u> (300L/10a)	1回目から14日後 <u>フロンサイドSC</u> (300L/10a)	2回目から30日後 アミスター-20フロアブル (300L/10a)
3例	—	ベンレート水和剤	植付から35日後 アミスター-20フロアブル (100L/10a)	1回目から14日後 銅剤 (200L/10a)	2回目から14日後 アミスター-20フロアブル (300L/10a)

ポイント

- フロンサイドSCは、基腐菌に汚染された畝間の土壌からの感染防止効果が期待されるため、畝間土壌を含むほ場全面に散布することが効果的です。
- フロンサイドSCは、植付前の土壌処理剤としてフリントフロアブル25を使用したほ場でも使用できます。（フリントフロアブル25とアミスター-20フロアブルは同一系統であり、連用で耐性菌の発達リスクが高まるため、同一作での使用を控える。）
- 上記は散布例です。3回目以降は異なる薬剤でローテーション散布を行いましょう。

皮ふがかぶれることがあるので、使用上の注意をよく読んで使用しましょう。

